

# アセトアミノフェン錠 カロナル細粒 適正使用のお願い



1

成人は用途によって投与量が異なります

	用量（適宜増減可）	投与間隔	最大投与量 （1日総量）
成人における <b>鎮痛</b>	1回300mg～ 1000mg	4～6時間以上	4000mg/日を上限
成人における <b>急性上気道炎の 解熱・鎮痛</b>	<b>頓用</b> 1回300mg～ <b>500mg</b>	原則1日2回まで ※添付文書では 時間の規定なし	1500mg/日を上限

2

小児科領域は体重によって投与量が異なります

	用量（適宜増減可）	投与間隔	最大投与量 （1日総量）
小児科領域における <b>解熱・鎮痛</b>	1回10～15mg/kg ※1回500mgを上限	4～6時間以上	60mg/kg/日を上限 ※1500mg/日を上限 ※成人の用量を超えない

※低出生体重児、新生児及び3カ月未満の乳児を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない  
（添付文書より抜粋）

3

その他の使用上の注意点

重篤な肝障害が発現するおそれがあるので、長期投与する場合は定期的に肝機能検査を行って下さい。

アセトアミノフェンを含む他の薬剤との併用は避けて下さい。（トアラセット、PL配合顆粒、一般用の総合感冒剤など）

# アセリオ静注液1000mgバッグ

## 適正使用のお願い



1

成人は用途によって投与量が異なります

	用量	投与時間	投与間隔	最大投与量 (1日総量)
成人における <b>疼痛</b>	1回300mg~1000mg ※体重50kg未満の場合 1回15mg/kgを上限	15分	4~6時間以上	4000mg/日を上限 ※体重50kg未満の場合 60mg/kg/日を上限
成人における <b>発熱</b>	1回300mg~500mg	15分	4~6時間以上 ※1日2回まで	1500mg/日を上限

2

乳幼児、小児は年齢によって投与量が異なります

	疼痛及び発熱時の 用量	投与時間	投与間隔	最大投与量 (1日総量)
<b>2歳未満</b> の幼児 及び乳児	1回7.5mg/kg ※1回500mgを上限	15分	4~6時間以上	30mg/kg/日を上限 ※1500mg/日を上限
<b>2歳以上</b> の幼児 及び小児	1回10~15mg/kg ※1回500mgを上限	15分	4~6時間以上	60mg/kg/日を上限 ※1500mg/日を上限

※低出生体重児、新生児及び3カ月未満の乳児を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない  
(添付文書より抜粋)

3

その他の使用上の注意点

アセリオ静注液1000mgバッグの投与は、経口製剤及び坐剤の投与が困難で、静注剤による緊急の治療が必要である場合などに考慮し、経口製剤または坐剤の投与が可能になれば速やかに経口製剤または坐剤の投与への切り替えをご検討ください。

重篤な肝障害が発現するおそれがあるので、長期投与する場合は定期的に肝機能検査を行って下さい。

アセトアミノフェンを含む他の薬剤との併用は避けて下さい。 (トアラセット、PL配合顆粒、一般用の総合感冒剤など)